

法人の理念

キリストの愛の精神に立って、福祉サービスを必要とするすべての人に仕え、日常を支援し、常に人びとの人権を護りその人格の尊厳を尊重します。

2024年度

1月園だより



円町まぶね隣保園
京都市中京区西ノ京北円町50
TEL (075) 462-8829
携帯 (080) 4625-9085(緊急用)
(080) 4625-9065

今月のみことば

「受けるよりは与える方が幸いである。」

使徒言行録20章35節

0歳児クラスの子どもたちをバギーに乗せてお散歩に出かけました。すれ違う人は子どもたちの顔を見ては笑顔で手を振って声を掛けてくれます。そこで近隣の方と一言、二言言葉を交わすことで、お散歩の時間は何倍も有意義で楽しい時間になります。子どもたちの持っている笑顔や何気ない仕草、存在そのものに、笑顔と安らぎ、希望と元気を与えてくれます。

さて、今私たちが受けているものは何があるでしょうか。与えられているものに対して感謝するとしたらどれくらいあるのでしょうか。人は感謝の数だけ、与えることができるのだそうです。感謝と与えることは比例しています。逆に不平・不満は溜め込みやすく、そのままですると体調が悪くなったり関係がよどんできたりします。

イスラエルに死海という湖があります。そこは受けた水を出すところがなく、水が滞ることで塩分濃度が高くなり生き物が住めず命の無い湖です。受けたものを出さず溜め込んだままにすると命が育まれません。

昨年を振り返ると、年が明けて能登半島地震が起こり多く人が未だ苦しい生活をしています。ロシアとウクライナ戦争やパレスチナの中東問題で世界は混乱し、物価高により生活は苦しい経済状況が続いています。人間関係も複雑化し悩みは尽きません。この現実を目の当たりにして、どこに感謝ができるのかと感じてしまいます。

しかしそれでも、もうすでに十分受けていることに気づくと、小さな感謝の種を見つけることができ、与えることでその種は芽吹き、やがて愛と平和の実が結ばれます。

行き先不透明で不安定な時代だからこそ、先に書いた子どもたちの笑顔が溢れる社会でありたいと心よりお祈ります。「受けるよりは与える方が幸いである。」

園長 沼津 孝治

苦情解決委員会

苦情解決責任者 沼津 孝治
苦情受付担当者 松尾 恵美
第三者委員 花岡 尚樹 畑 健次郎
酒井 咲子

今月のねらい

- しいの実 たんぽぽ** 生活リズムを整え、元気に過ごす。友だちと関わり合い、身体を動かし楽しむ。
- みず** 様々な素材に触れ、作ったもので遊ぶことを楽しむ。
- かぜ** あそびや制作等、色々なことに興味を持って、楽しんで取り組む。
- そら** リズムを整え、生活の流れに見通しを持って、自ら進んで行動する。

明けましておめでとうございます。年末年始はいかが過ごされましたか。休み明けは生活のリズムを整えるように心がけましょう。今年度も残り三か月となりました。一年の締めくくりとして子どもたちの成長を振り返り、残りの日、一緒に過ごす時間を大切にしていきたいと思えます。



1月の行事

- 12/30(月)~1/3(金) 冬期休園
- 4日(土) 家庭保育協力日
- 24日(金) お誕生会
- 28日(火) 幼児健診



寒い冬も、手洗いやうがい、早寝、早起きをして丈夫な身体づくりを目指そう！



諸費請求お知らせ

24日(金)
エンペイ支払い期日
24日(金)~28日(火)

2025年度に引越し等の理由で転園される予定がある方は、1月10日(金)までに職員室までお声掛けください。

今後の行事について

- 制作展… 2月14日(金) 時間 16:30~18:30
- 卒園式… 3月22日(土) そら組(4歳児)も参加予定です。



クリスマス献金をしてくださり、ありがとうございました。



第27回保育フェスタ

第56回京都市保育園・認定こども園

絵画展

会場：京都市美術館別邸
1月24日(金)13:00~16:30
25日(土)10:00~16:30
26日(日)10:00~16:30

中京区保育園児絵画展 (5歳児全員)

会場：ゼスト御池寺町前広場
2月1日(土)10:00~
2月5日(水)~18:00



避難訓練…未定